



↑ コンクリすべり台の見つめる先には…

どこか懐かしい昔ながらのコンクリート製すべり台は、ザラザラとした見た目ながら意外とツルツル。その見つめる先には、ステンレス製の"後輩"が鎮座しています。

場所：鶴川若草児童公園
開園：1968年8月
住所：町田市鶴川1-11



← 町田にピラミッド出現?!

帽子というより、そのとんがり具合はもはやピラミッド。三角の一面は、傾斜のあるうんていのようになっています。

場所：薬師台とんがり帽子公園
開園：1987年1月
住所：町田市薬師台3-1-2

→ ビビッドな色と斬新な形が印象的

目の覚めるような真っ赤な長靴型。靴の中は空洞で、鬼ごっこで隠れる場所としても役立ちそうです。

場所：つくし野ながぐつ児童公園
開園：1968年10月
住所：町田市つくし野4-31



ボクの時代も、パパの時代も、 みんな大好きすべり台!

はやる気持ちを抑えながら階段を登り、一呼吸おいたらスーッと風を切ってすべり降りる。その爽快感は時間や距離とは関係なし。「できればもう一度味わいたい……」という大人も少なくないのではないのでしょうか。ここでは、町田の公園で人気を誇る新旧のすべり台を紹介します。



← 恐竜の口から脱出!

あんぐりと口を開けた姿がどこか愛嬌のある恐竜。背中の手すりには、ステゴザウルスのとげとげのようでもあります。

場所：薬師台青空公園
開園：1987年1月
住所：町田市薬師台2-13-3

→ モチーフは世界遺産?

見る角度によって、まったく別の表情をみせる不思議な形。丸や三角の小窓がたくさんあって、もしかするとモチーフは世界遺産のカッパドキア?

場所：新中町平和公園
開園：1971年12月
住所：町田市中町3-296



← 私は貝をすべりたい

グルグルンと滑り落ちるらせん型。子どもの頃は何度すべっても平気だったのに、大人になると気持ちが悪くなってしまうのはなぜでしょう。

場所：つくし野貝がら児童公園
開園：1968年10月
住所：町田市つくし野1-13

場所：芹ヶ谷公園
開園：1982年4月
住所：町田市原町田5-16
駐車場あり

すべり台の利用時間は
午前9時～午後5時30分
(10月～2月は午後4時30分まで)

↑ スリル満点の大型滑り台

2020年3月に誕生した全長46mの大型すべり台。スリルと爽快感は満点ですが、対象は6歳から12歳まで。残念ながらパパは見学のみです。



自然豊かな
フィールドで
元気いっぱい



冒険遊び場「おむすび食堂」
町田市玉川学園6-2383-1
(玉川学園なかよし公園)
omusubi.playpark@gmail.com
活動日：12月26日、1月23日、2月27日、
3月27日 午前10時～午後2時 雨天中止
予約不要・参加無料
https://omusubi-playpark.
localinfo.jp/

人気の崖滑り



お外遊びのススメ



玉川学園前駅のほど近く、閑静な住宅街に囲まれた「3丁目子ども広場」。おもちゃを積んだりカーがカタコトと音を立てて到着したら、さあ、ちびっこ達の楽園の幕開けだ――。

現在は7人のママで構成される「お外遊び子育て支援チーム クローバー」(平井よしこ代表)が主催する外遊びイベント「プレーリヤカーがやってくる」。穴を掘ったり、泥んこになったり、草の上で寝転んだり。心地よい風や空の広さを感じながら遊ぶ子どもと、そんな姿を愛そうに見守る親が生み出すのんびりとした時間が広場に流れる。

開催は月2回。参加を予約制にしないのは、「子育てはハプニングの連続で、ママは朝から疲れていることもある」という経験から。また、孤独になりがちな母親の心のよりどころになればと、子どもの対象年齢は設けないなど広く門戸を開く。

土や風の匂い、長靴で水たまりに入る感触。平井さんは、「子どもの頃に味わった感覚は今も鮮明に残る。外遊びで学ぶものは大きいと思うので、そんな場を提供していけたら」。遊び疲れて寝てしまう子どもの姿も、「たくさんお外で遊ばせた」という母親の充足感につながるはずだ。



代表の平井さん

リヤカーが着いたらどこでも楽園!



原っぱで
思い思いの
時間を過ごす

プレーリヤカーがやってくる
町田市玉川学園3-35
(3丁目子ども広場)
☎090-3684-2265(平井代表)
活動日：毎月2回 午前10時30分～午後1時
(※詳細はホームページ参照)
予約不要・参加無料
https://harmoniayogayoshik.
wixsite.com/clover



活動は3年目を迎えた